

ごみ・生活排水に関するアンケート調査 ご協力をお願い

寒冷の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より本市環境行政に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では循環型社会を形成するため、更なるごみの減量化・資源化に向けた取り組みを行っています。

このアンケートは、令和3年度に行う「日進市一般廃棄物処理基本計画」の見直しに合わせて、市民の皆様のごみ処理についてのお考えをお聞かせいただき、ごみの減量化・資源化の方策に繋げていくために行うものです。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は統計的に処理を行い、調査目的以外には一切使用いたしません。

令和3年●●月

日進市長 近藤 裕貴

※本アンケートは、令和2年●●月●●日現在の市民の方から、無作為に抽出した3,000世帯を対象として実施しています。

【このアンケート調査票の構成】

- | | |
|------------------------|------|
| 1. あなたご自身のことについて | P. 1 |
| 2. ごみ減量やリサイクルの取り組みについて | P. 2 |
| 3. 市のリサイクル事業について | P. 9 |
| 4. 市のごみ収集の方法について | P.10 |

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・同封の調査票の質問に黒の鉛筆かボールペンではっきりと記入・回答の上、同封の返信用封筒にてご返送ください。
- ・回答者は同一世帯のどなたでも結構です。なお、出来る限りお一人で回答してください。
- ・質問ごとに該当する番号を○で囲んでください。質問によっては、() 内へ記入していただくことがあります。

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

日進市 生活安全部 環境課 資源循環係

電 話 0561-73-2883 (直通)

F A X 0561-72-4603

E-mail kankyo@city.nisshin.lg.jp

1. あなたご自身のことについてお伺いします。

問1-① あなたの年齢についてお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳代以上 | | |

問1-② あなたの世帯構成をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-------|---------|-------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人 | 6. 6人以上 | | |

問1-③ あなたの職業についてお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|------------|---------------|
| 1. 農業 | 2. 自営業 | 3. 会社員(公務員含む) |
| 4. 学生 | 5. 専業主婦(夫) | 6. パートアルバイト |
| 7. 無職 | 8. その他 | |

問1-④ あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-------------|---------|
| 1. 戸建て(持ち家) | 2. 戸建て(賃貸) | |
| 3. 集合住宅(賃貸) | 4. 集合住宅(分譲) | 5. 併用住宅 |

問1-⑤ 現在のところに何年ぐらいお住まいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 |
| 3. 3年以上5年未満 | 4. 5年以上 |

問1-⑥ あなたがお住まいの地区は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 赤池 | 2. 赤池町 | 3. 赤池南 | 4. 浅田町 |
| 5. 浅田平子 | 6. 岩崎台 | 7. 岩崎町 | 8. 岩藤町 |
| 9. 梅森台 | 10. 梅森町 | 11. 折戸町 | 12. 香久山 |
| 13. 蟹甲町 | 14. 北新町 | 15. 米野木台 | 16. 米野木町 |
| 17. 五色園 | 18. 栄 | 19. 三本木町 | 20. 竹の山 |
| 21. 野方町 | 22. 東山 | 23. 藤枝町 | 24. 藤島町 |
| 25. 藤塚 | 26. 本郷町 | 27. 南ヶ丘 | |

問1-⑦ ご自宅の排水形態は下記のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| 1. 公共下水道 | 2. 集中浄化槽 | 3. 合併浄化槽 |
| 4. 単独浄化槽 | 5. 浄化槽(種類不明) | 6. その他 |
| 7. わからない | | |

2. あなたのごみ減量やリサイクルの取り組みについてお伺いします。

私たちが日常生活で消費する食品や製品には、地球が長い時間をかけて作り上げた貴重な資源やエネルギーが多く費やされています。これらは最終的にごみとして処理するため、多くのエネルギーを消費するとともに温室効果ガスを発生させ、地球環境に負荷を与えています。

そこで、市民の皆さまにごみ減量やリサイクルの取り組みについてお伺いします。

問2 日頃の暮らしの中で、ごみの問題をどのようにとらえていますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 深刻だとは考えていない |
| 2. 深刻だと考え、日頃意識して行動もしている |
| 3. 深刻だと考えているが、特に日頃行動していない |
| 4. わからない |

問3 あなたはごみ減量やリサイクルを意識していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. いつも意識している | 2. 時々意識している |
| 3. 意識していない | |

問4 市内ではごみの減量やリサイクル推進のために以下の取り組みが行われています。あなたが利用している取り組みはありますか。(○はいくつでも可)

- | |
|--------------------|
| 1. エコドーム(回収ステーション) |
| 2. 資源回収拠点 |
| 3. 粗大ごみ収集の電話予約 |
| 4. 電動生ごみ処理機購入補助 |
| 5. 生ごみ堆肥化容器購入補助 |
| 6. 団体資源回収補助 |
| 7. 電動生ごみ処理機無料貸出 |

問5 本市では、平成30年4月から、「陶磁器・ガラス」「金属類」との分別と収集日を変更しました。内容の変更に関する周知方法についてどのように思われましたか。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------|
| 1. 十分周知できていた |
| 2. おおむね周知できていた |
| 3. あまり周知できていなかった |
| 4. まったく周知できていなかった |

問6 あなたの住んでいる町内で、町内会や子供会等が資源物地域回収を実施していますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 実施している | 2. 実施していない | 3. わからない |
|-----------|------------|----------|

問7 あなたの資源物地域回収の利用状況についてお答えください。(○は1つだけ)

1. いつも利用している
2. たまに利用している
3. 利用していないが、今後は利用したい
4. 利用したことがなく、今後も利用予定はない

問7で資源物地域回収について「3.」、「4.」(利用していない)を選んだ方にお聞きします。

問8 あなたが資源物地域回収を利用しないのはなぜですか。(○はいくつでも可)

1. 住んでいる地域では実施していないから
2. 住んでいる地域が回収を行っているかわからないから
3. 通常のごみ収集で十分だから
4. 回収場所がわからないから
5. 行っている日時がわからないから
6. 回収場所に持っていくのが面倒だから
7. 回収品目がわからないから
8. 回収されたものがどのように処理されるのかわからないから
9. 回収品目となるごみが出ないから
10. その他()

問9 普段の生活においてごみの分別や出さないようにするために取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも可)

1. 必要以上のものは買わないようにしている
2. 使い捨て商品を買わず、詰め替え商品を買っている
3. 裸売り(ラップ・トレイのないもの)の野菜や魚等を優先に購入している
4. プラスチック製品よりも、紙製品を優先に購入している
5. リサイクルショップを利用して購入するようにしている
6. すぐ捨てるのではなく、修理・修繕して長く使うようにしている
7. 家電製品等を購入する場合、耐久性や修理などを考慮して購入している
8. レジ袋を断って、マイバッグで買い物している
9. 過剰包装を断っている
10. ティッシュなどの代わりにハンカチやタオル、雑巾を使用するようにしている
11. 家庭内で「ムダ」をなくすよう話をしている
12. WEB新聞を購読している
13. その他()

問 10 燃えるごみ袋の中身の分類を調査した結果では、水分が多く含まれる生ごみが約40%含まれ、水分を減らすことは経費の削減に繋がります。あなたが、生ごみの減量のために行っていることや、生ごみに水分が含まれないようにしている取り組みはありますか。(〇はいくつでも可)

1. 食べ残しをしない。食べきれぬ量しか作らない
2. 三角コーナーや水切りネットで水切りをしている
3. 野菜の使えない部分は洗う前に切り落としている
4. 野菜くずなどは乾燥させている
5. 電動生ごみ処理機を利用している
6. 生ごみを堆肥化している
7. 草刈りをした草をしばらくおいて乾かしている
8. その他 ()

問 11 食品ロス(※1)削減のために、あなたが心掛けていることはありますか。(〇はいくつでも可)

1. 買い物に行く前に、冷蔵庫の中身を確認し、買いすぎないようにしている
2. ばら売りや小袋などを活用し、必要な量だけを購入している
3. 食品の賞味(消費)期限に注意して、食べ忘れないようにしている
4. 野菜の皮や芯などを料理に使うなど、食材を無駄なく使っている
5. 料理は残さず食べるようにしている
6. フードドライブ(※2)に協力している

(※1) 食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品をいう。食べ物を捨てることはもったいないことで、環境にも悪い影響を与えてしまう。

(※2) フードドライブとは、各家庭で余った食品を持ち寄り、それを必要とする人々にフードバンクなどを通じて寄付する活動。

問 12 ごみを出す際、分別方法がわからない場合には、どのように調べていますか。(〇はいくつでも可)

1. 家庭ごみ&資源の出し方ガイドブック
2. 市のホームページ
3. アプリ(全国ごみの日ナビ(ごみの日お知らせアプリ))
4. 電話で問い合わせる
5. その他 ()

問 13 あなたが、普段の生活の中で取り組んでいる排水対策の取り組みはありますか。
(○はいくつでも可)

1. 食べ残しや調理くずは流しに直接流さない。
2. 味噌汁、ビール、牛乳等は流しに流さない。
3. 煮物の汁等、可能なものは新聞紙等にしみ込ませ、ごみとして出す。
4. 使用済み油は新聞紙等にしみ込ませる、固形化する等してごみに出す。
5. 調理器具の汚れはふき取ってから洗う。
6. 三角コーナーや流しのカゴに水切り袋等をつける。
7. 米のとぎ汁は、植木にやる等により再利用している。
8. 食器用洗剤の使用量を減らす。
9. 食器洗いにアクリルたわしを使う。
10. 環境への負荷が少ない洗剤（重曹洗剤等）を使う。
11. 洗濯洗剤の使用量を減らす。
12. 風呂の残り湯を洗濯に使い、水の使用量を減らす。
13. ヘアカラーの薬剤を流さない。
14. その他（)

3. 市のリサイクル事業についてお伺いします。

本市ではごみ集積所における資源の回収業務は「プラスチック製容器包装」、「びん・缶・陶磁器・ガラス」を対象としており、紙類やペットボトルの回収はエコドームや店舗等の資源回収拠点にて行っています。

市民の皆さまにご協力をいただき、リサイクル率は県内の市で 11 番目に高い水準（平成 30 年度実績）となっておりますが、組成調査によると、まだごみの中にリサイクルできる資源が混入されています。

リサイクル率の更なる向上を目指し、ごみ減量に繋がる施策の参考とするため、リサイクル事業についてお伺いします。

問 14 あなたはお近くの資源回収拠点で新たに回収して欲しい品目についてお聞きします。(○はいくつでも可)

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1. ペットボトル | 2. びん | 3. かん |
| 4. 発泡スチロール | 5. 段ボール | 6. 新聞紙 |
| 7. 雑古紙 | 8. 古布 | 9. 紙製容器包装 |
| 10. 牛乳パック | 11. 紙パック | 12. 白トレイ |
| 13. その他（) | | |

問 15 令和元年度のごみの組成調査によると、家庭ごみの内、約1割がリサイクル可能な紙類となっています。「紙製容器包装（紙袋、包装紙、紙製容器包装マークがついているもの）」を「びん・缶」と同じようにごみ集積所において定期的に回収することについてどう思われますか。（○は1つまで）

- | | | |
|--------------|-----|---|
| 1. 賛成 | 理由（ | ） |
| 2. 反対 | 理由（ | ） |
| 3. どちらとも言えない | 理由（ | ） |

4. 市のごみ収集の方法についてお伺いします。

本市のごみ収集運搬費用は約3億円、その他中間処理費用や尾三衛生組合負担金等を合算すると、ごみ処理に関して年間約8億円以上の経費を要しています。

ごみ自体の減量や、資源の分別を図ることにより、これらの経費を減らすことにつながりますので、新施策への参考意見としてお伺いします。

問 16 日進市のごみ集積所では①燃えるごみ、②金属類、③プラスチック製容器包装、④びん・缶・陶磁器・ガラスに分別して家庭ごみを出すルールとなっていますが、この分別についてどう思われますか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------|---|
| 1. ちょうど良い | |
| 2. もっと細分化すべき | |
| 3. 分別が多すぎる | |
| 4. その他（ | ） |

問 17 市のごみ収集の回数についてどう思われますか。それぞれお答えください。（各項目○は1つだけ）

○燃えるごみ（週2回）

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. ちょうど良い | 2. もっと増やすべき | 3. 減らすべき |
|-----------|-------------|----------|

○金属類（月1回）

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. ちょうど良い | 2. もっと増やすべき | 3. 減らすべき |
|-----------|-------------|----------|

○プラスチック製容器包装（週1回）

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. ちょうど良い | 2. もっと増やすべき | 3. 減らすべき |
|-----------|-------------|----------|

○びん・缶・陶磁器・ガラス（月2回）

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. ちょうど良い | 2. もっと増やすべき | 3. 減らすべき |
|-----------|-------------|----------|

問 18 本市では、ごみ袋や粗大ごみ処理券の売上（令和元年度：約 9,600 万円）を廃棄物処理事業（令和元年度：約 8 億 4,000 万円、1 世帯平均約 22,432 円）の財源としています。ごみ袋や粗大ごみの処理券の価格についてどう思われますか。それぞれお答えください。（各項目○は 1 つだけ）

○ごみ袋大の価格

- | | | |
|-------|----------|-------|
| 1. 高い | 2. やや高い | 3. 普通 |
| 4. 安い | 5. わからない | |

○ごみ袋小の価格

- | | | |
|-------|----------|-------|
| 1. 高い | 2. やや高い | 3. 普通 |
| 4. 安い | 5. わからない | |

○粗大ごみ処理券の価格

- | | | |
|-------|----------|-------|
| 1. 高い | 2. やや高い | 3. 普通 |
| 4. 安い | 5. わからない | |

問 19 本市では、「燃えるごみ袋」「資源袋（金属類用）」「プラスチック製容器包装等袋」とそれぞれサイズが指定されています。生活スタイルが変化している中、新たに必要なごみ袋のサイズがあれば、お答えください。（○は 1 つだけ）

1. 今の状況で不都合はないので、このままでよい
2. 燃えるごみ袋（大）より、さらに大きいサイズがほしい
3. 燃えるごみ袋（小）より、さらに小さいサイズがほしい
4. 金属類（大）より、さらに大きいサイズがほしい
5. 金属類（小）より、さらに小さいサイズがほしい
6. プラスチック製容器包装（大）より、さらに大きいサイズがほしい
7. プラスチック製容器包装（小）より、さらに小さいサイズがほしい
8. その他（)

問 20 ごみのステーション回収には、年間約 3 億円を要しています。
 戸別収集にした場合、収集箇所が増え、人件費やトラックの増車等により年間費用が 2 倍以上になることが予想されます。
 費用増に伴い、ごみ袋価格に影響が出ることも予想されますが、戸別収集が必要と考えますか。(○は 1 つだけ)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 実施する必要がある | 2. どちらかといえば実施する必要がある |
| 3. あまり実施する必要がない | 4. 全く実施する必要はない |
| 5. わからない | 6. その他 () |

問 21 市の今後の取組みとして何が必要だと思われますか。(○は 3 つまで可)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 資源物の回収品目の追加 |
| 2. 収集回数の増加 |
| 3. ごみ集積所の増設 |
| 4. 資源回収拠点の増設 |
| 5. 収集方法の見直し |
| 6. ごみ出し指導の強化 |
| 7. フリーマーケット等の活性化と市の関与 |
| 8. リサイクルショップ等の情報提供の強化 |
| 9. 集団回収活動の活性化及び補助金の増加 |
| 10. 生ごみ処理機購入補助金の充実 |
| 11. 過剰包装防止、レジ袋削減、マイバッグ運動の啓発 |
| 12. その他 () |

問 22 市のごみ処理事業関連について役立っている情報元は何ですか。
 (○はいくつでも可)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 広報 | 2. ホームページ |
| 3. 地域の回覧板 | 4. 知人、隣人の情報 |
| 5. テレビ・新聞・雑誌等 | 6. インターネット |
| 7. 役所等の公共施設 | 8. アプリ |
| 9. その他 () | |

その他、ご意見をご自由にお書きください。

【ごみについて】

【生活排水について】

以上で終わりです。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

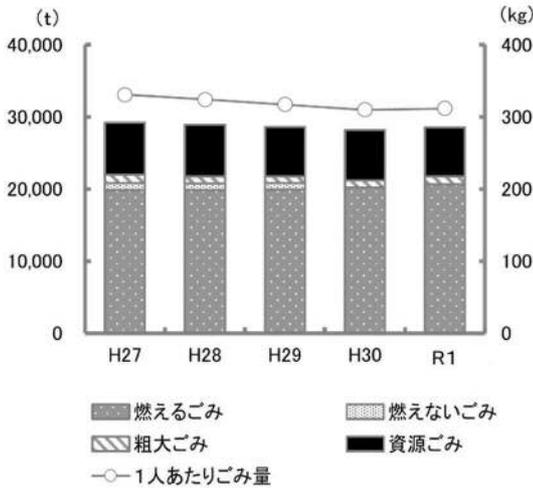
お手数ですが、ご記入いただいた調査票は、●●月●●日（●）までに、

同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。

参考資料 日進市のごみに係るデータ

平成 27 年度から令和元年度までの一般廃棄物に関わるデータです。
 また、最後のページには「ごみ・資源」の処理の流れがあります。
 アンケート開始前にお読みいただき、アンケート回答のご参考にさせていただきますようお願いいたします。

1 ごみ量の推移

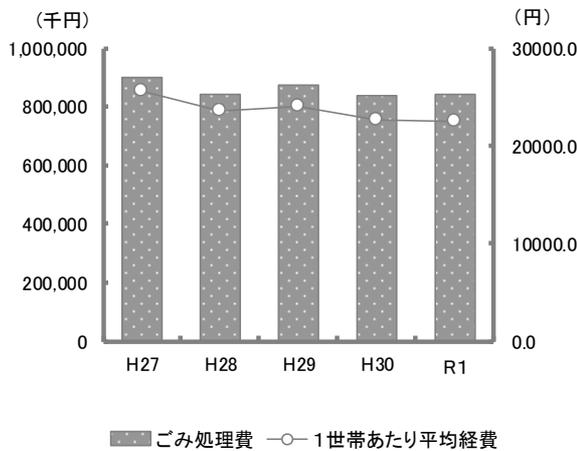


	H27	H28	H29	H30	R1
人口 (人)	88,256	89,202	90,154	90,974	91,652
燃えるごみ (t)	19,850	19,860	19,951	20,239	20,660
燃えないごみ (t)	964	926	904	3	1
粗大ごみ (t)	1,182	960	913	994	1,092
資源ごみ (t)	7,209	7,168	6,822	6,947	6,763
総ごみ量 (t)	29,205	28,914	28,590	28,183	28,516
1人あたりごみ量 (kg)	331	324	317	310	311

資料：日進市清掃事業概要

年間ごみ量は約 29,000t です。
 なお、平成 30 年度から、燃えないごみ袋を廃止し、金属類の袋を新設しました。

2 年間処理経費

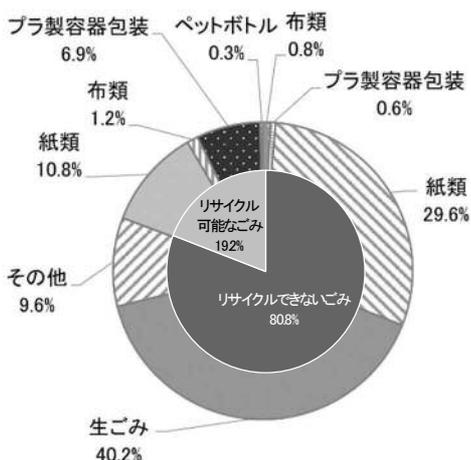


	H27	H28	H29	H30	R1
ごみ処理費 (千円)	897,687	840,109	872,406	835,910	842,556
1世帯あたり平均経費 (円)	25,617	23,538	23,961	22,567	22,432

資料：日進市清掃事業概要

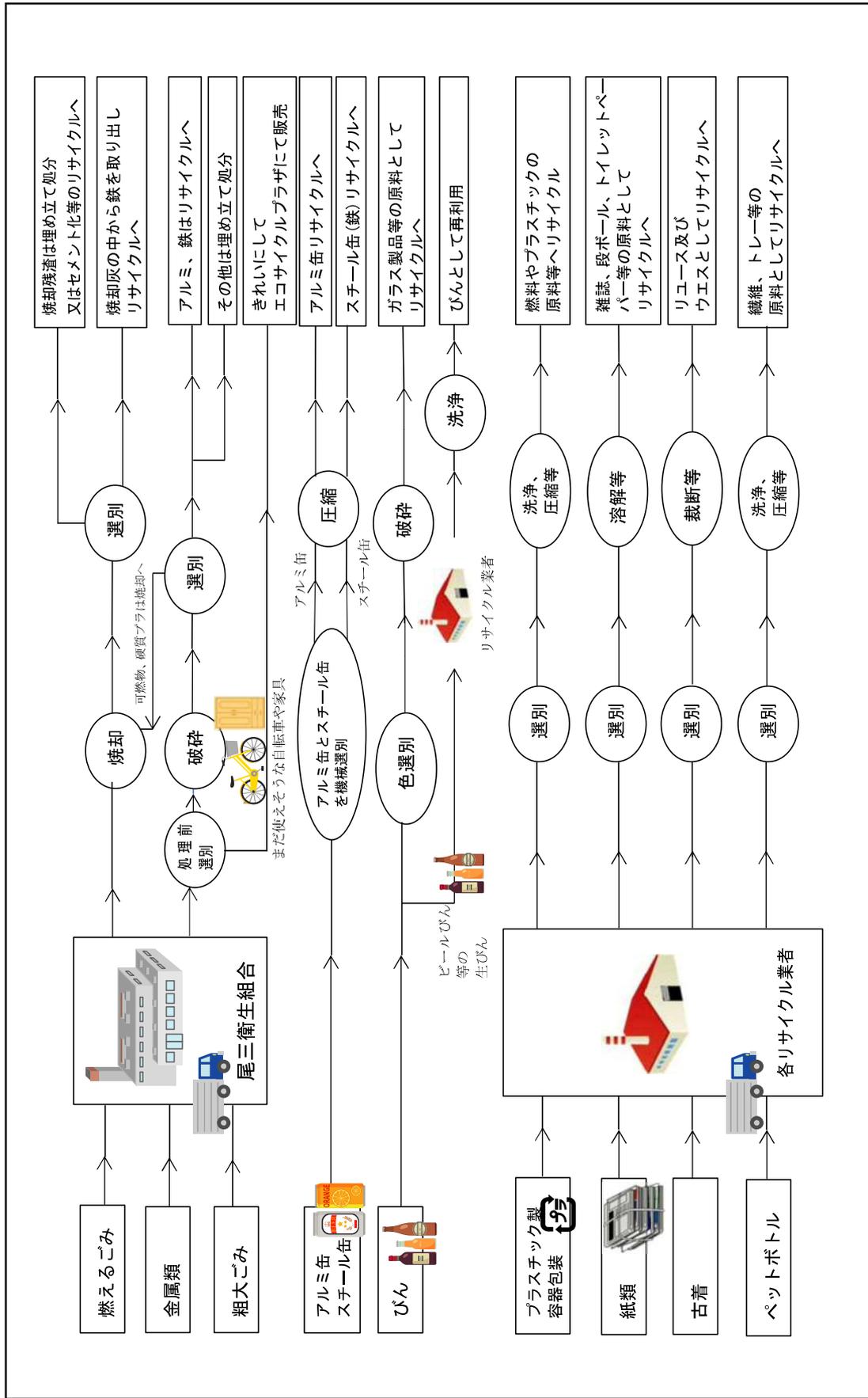
市民の皆様のご協力により、1世帯あたりの平均経費は、概ね減少傾向にあります。

3 燃えるごみの組成調査結果



市では毎年ごみ袋の中身を調べる組成調査を行っています。市内3箇所から10袋ずつ合計30袋集め、調査した結果、リサイクルできる資源が19.2%含まれていました。ごみ量の削減には、ごみそのものを減らすことに加えて、資源をリサイクルに回すことも有効な手段となります。

【家庭系ごみ・資源の流れ】 日進市では、ごみや資源は下記の通り処理されています。エコドームや資源回収拠点で資源を集めており、今後もごみ減量・リサイクル推進を進めてまいります。



「令和3年度日進市一般廃棄物処理基本計画」策定に向けたアンケート調査の骨子及び設問設計理由

I 調査の背景・位置付け

- 平成24年3月に日進市一般廃棄物処理基本計画を策定し、平成28年度の見直しから約5年経過することに伴い、設定した目標との差異や計画内容の進捗状況に合わせた中間見直しをする必要がある。
- 日進市一般廃棄物処理基本計画においては、本市の市民等で構成された日進市一般廃棄物処理基本計画策定委員会での意見等を反映させることとしている。
- 本業務は、現計画の評価と次期計画の策定に当たり、策定作業を円滑に進めるための支援、基礎調査を行うことを目的とする。

II 上位計画の方向性（基本理念）

- 第四次循環型社会形成推進基本計画の方向性
 - ・経済的側面、社会的側面との統合を含めた「持続可能な社会づくりとの統合的取組」
 - ・適正処理の更なる推進と環境再生
- 食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）
 - ・SDGsを踏まえた家庭から発生する食品ロスを2000年度比で2030年度までに半減する（事業系の食品ロスについても同様）

III 現計画の方向性

○目標

- ・年間ごみ量（家庭系+事業系） 平成27年度 21,996t⇒平成38年度 22,680t
- ・1人1日当たり家庭系ごみ量 平成27年度 515g/人・日⇒平成38年度 483g/人・日
- ・リサイクル率 平成27年度 27.1%⇒平成38年度 30%
- ・生活排水処理率 平成27年度 83.1%⇒平成38年度 98%以上

「ごみ処理基本計画」

基本方針1 ごみの排出抑制に向けた取り組みの推進

基本方針2 資源化・リサイクルの推進

基本施策3 適正な処理体制の構築

「生活排水処理基本計画」

基本方針1 公共下水道施設の普及・拡大に向けた整備

基本方針2 合併処理浄化槽の整備及び適正な維持管理の推進

基本施策3 市民協働の推進

IV 次期計画の策定に向けた調査項目

（番号）は設問番号 （前回比較）は前回同様設問 問1①~④は回答者の家族属性

＜市が想定する施策の方向＞	＜分析区分＞		
	現計画の評価	市民行動の把握	次期計画に向けた市民ニーズ
資源化・リサイクルの推進 焼却処理量の削減 1)ごみ排出抑制 生活排水処理の向上	A 水分の削減 (問2)地球環境に負荷がある中、日頃ごみとどのように関わっていますか。【A】【B】【C】 ⇒地域規模で起きている環境問題を市民ひとりがどう考えているか把握する (問3)ごみ減量やリサイクルを意識していますか。【A】【B】【C】 ⇒市民の取り組みの状況を把握し、現計画の評価をする (問4)ごみ減量やリサイクルの行政の取り組みを利用していますか。【A】【C】【前回比較】 ⇒現計画の取り組みの認知度を把握し、現計画の評価をする (問6)あなたの住んでいる町内で、町内会や子供会等が資源ごみ回収運動を実施していますか。【C】 ⇒市民の取り組みの状況を把握し、現計画の評価をする (問7)あなたの資源物地域回収の利用状況についてお答えください。【C】 ⇒市民の取り組みの状況を把握し、現計画の評価をする (問8)資源物地域回収を利用しないのはなぜですか。【C】 ⇒市民の取り組みの状況を把握し、現計画の評価をする (問9)ごみ減量やリサイクルの具体的な取り組み【前回比較】【B】【C】 ⇒市民の取り組みの状況を把握し、現計画の評価をする	(問10)生ごみの減量や、生ごみに水分が含まれないように取り組んでいることはありますか。【A】【B】 ⇒生ごみの水分削減について、市民がどのような行動をとっているのか把握する (問11)食品ロスを削減するために取り組んでいることはありますか。【B】 ⇒食品ロスについて、市民がどのような行動を取っているのか把握する (問12)分別方法がわからない場合にはどのように調べますか。【C】 ⇒資源化には分別が必要であり、分別方法の効果的な周知の仕方について、情報を把握する	(問14)資源回収で新たに回収してほしい品目はありますか。【C】【前回比較】 ⇒資源回収の品目の妥当性の市民ニーズを把握する (問15)「紙製容器包装」の回収方法をどう思いますか。【C】【前回比較】 ⇒資源回収方法の妥当性の市民ニーズを把握する (問21)市の今後の取組みとして何が必要だと思いますか。【A】【C】【前回比較】 ⇒市民が考えるごみの排出抑制に向けた取り組みを把握する
	(問5)平成30年の分別等の変更についての周知方法はどうか。【その他】 ⇒現計画の取り組みの認知度を把握し、現計画の評価をする	(問13)生活排水対策の具体的な取り組み【その他】【前回比較】 ⇒市民の取り組みの状況を把握し、現計画の評価をする (問22)市のごみ処理事業関連で役立っている情報元は何ですか。【その他】【前回比較】 ⇒ごみ処理方法の効果的な周知の仕方について、情報を把握する	(問16)日進市の分別方法をどう思いますか。【その他】【前回比較】 ⇒分別方法の妥当性を把握する (問17)ごみ収集の回数数をどう思いますか。【その他】【前回比較】 ⇒ごみ収集の回収数の妥当性の市民ニーズを把握する (問18)ごみ袋や粗大ごみの処理の価格をどう思いますか。【その他】【前回比較】 ⇒ごみ袋等の価格の妥当性の市民ニーズを把握する (問19)ごみ袋の大きさをどう考えますか。【その他】 ⇒ごみ袋の大きさの妥当性の市民ニーズを把握する (問21)ごみの戸別収集が必要と考えますか。【その他】【前回比較】 ⇒「戸別収集方式」の市民ニーズを把握する
	今後5年間に市で想定している施策の方向です。今回のアンケートでは、この施策の方向に基づき、「A 水分の削減」「B 食品ロスの削減」「C 紙類の分別」についての情報を把握したく設問設計しました。なお、施策の方向には、ぶら下がるものの、A~Cに直接ぶらさがらない設問は「その他」としています。		

変更一覧② (**11月5日修正分** 資料1「10月30日修正版」から、さらに修正した部分。)

資料5

通番	該当ページ	設問番号等	変更内容
1	表紙①	8行目～9行目	「…市民の皆様がごみ処理についてどのように考えておられるかを…」→「…市民の皆様のごみ処理についてのお考えを…」に変更。
2	表紙①	10行目	「…実施するものです。」→「…行うものです。」に変更。
3	p.1	問1-①	削除。
4	p.3	問5	施策変更自体の評価を問う設問から、施策変更時の情報発信に対する評価を問う設問へ、内容を変更。
5	p.4	問8	選択肢「9.住んでいる地域では…」を、選択肢1より前に移動。
6	p.5	問10	「…結果では、燃えるごみの…多く含まれており、水分を…」→「結果では、水分が多く含まれる生ごみが約40%含まれ、水分を…」に変更。
7	P.7	大見出し「4.市のごみ収集サービスについてお伺いします。」	「4.市のごみ収集の方法についてお伺いします」に変更。
8	P.7	「4.市のごみ収集サービスについてお伺いします。」の説明文1行目	「尾張三衛生組合」→「尾三衛生組合」に訂正。
9	p.8	問18 設問文1行目	「本市では…有料化として、ごみ袋や粗大ごみ処理券…」→「本市では、ごみ袋や粗大ごみ処理券…」に変更。
10	p.8	問18 設問文3行目	「…財源に充てています。」→「…財源としています。」に変更。
11	p.8	問19	「…新たな大きさの導入について、…お答えください。」→「…新たに必要ながみ袋のサイズがあれば、お答えください。」に変更。
12	p.8	問19	選択肢「2.もうひとまわり大きな…」→選択肢2～7に細分化。
13	p.9	問20、問21	削除。
14	参考資料「ごみの流れ」		①文字を大きく変更。 ②右端最上段「焼却残渣は埋め立て処分」→「焼却残渣は埋め立て処分又はセメント化等のリサイクルへ」に変更。 ③右端2段目「焼却灰はセメント化等のリサイクルへ」→「焼却灰の中から鉄を取り出しリサイクルへ」に変更。